

蠟燭/相原邦弘

w/m：相原邦弘

嵐が
波を高く荒げては
重い雨は
音まで呑み込んで
時間も溺れさせた

取り残された心も
流されてしまえばいい
消えそうな
蠟燭の灯りに
そっと手をやった

遠く明けない夜に
望む事も止めた
あの日の僕

あなたは
凧と共に現れて
言葉を掛けてくれたね
月の光に似ていて
優しくかった

錆びてしまった心を
動かしてくれるのかい
仕舞ってた
蠟燭の残りが
やっと見つかった

月が見える夜に
祈りの灯を点けた
あの日の僕